

群馬県立太田東高等学校 学校評価一覧表① (平成30年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 進学重視型の単位制の学校として、習熟度別・少人数制の授業形態や、自らの考えを深めたり周り意見交換し合ったりする授業内容に満足している生徒が70%以上いる。 ② 「みらい学」を中心とした EAST Project に主体的に取り組む生徒が、70%以上いる。 ③ 自分の学校が好きだと感じている生徒が、80%以上いる。	① ステップアップサポート事業を活用し、幅広い学力を付けさせる授業の実践を行うとともに、定期課題や休業中の課外授業等の改善を図る。 ② 関係機関と連携を図るとともに、生徒の進路意識と学習への動機付けを結び付けられるような工夫を行う。 ③ 授業を充実するとともに、特別活動や部活動などの活性化を図る。 ④ ボランティアの意義について理解を深めるようにし、多くの生徒の参加をうながす。	B	B	授業の中に、対話的で深い学びの場面を作れるよう工夫し、生徒が主体的に考えを深められるよう全職員で取り組む。	B	B	各教科の特性に応じて、年間を見通し、授業の中に対話的で深い学びの場面を設定し、生徒が主体的に考えを深められよう全職員で取り組む。
	2 ボランティア活動に生徒が積極的に取り組んでいますか。	④ 学校周辺の清掃活動「わくわくボランティア」への参加生徒が、30%以上いる。	⑤ 生徒が「主体的」に取り組む授業の工夫が行われ、授業に「主体的に取り組むことができた」と答える生徒が 70%以上いる。 ⑥ 自分のもつ力を発揮して、学習に意欲的に取り組んでいる生徒が、70%以上いる。	⑤ 言語活動を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業展開を行う。 ⑥ 習熟度授業や少人数授業のよさを十分に生かすとともに上位や下位の生徒にも対応した授業を行う。 ⑦ 基礎基本の定着を図るとともにそれらを活用できるような指導を行う。また、生徒の言語活動の充実を図る。 ⑧ 学習量調査や二者面談等を行い、生徒に学習への自覚をうながす。	B	B	「公開みらい学」など特徴的で効果的な活動を維持しつつ、探究活動の本格実施に取り組む。 生徒が学校生活全般に積極的に関わられるような環境作りを全職員で行う。 ボランティアの意義を再確認させるとともに、生徒会と連携して生徒が主体的に参加したいと思える雰囲気作りを努める。	B	B
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑦ 進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が70%以上いる。 ⑧ 平日の学習時間が1時間30分以上の生徒が、70%以上いる。	⑨ 各年次と生活指導係が中心となり、すべての職員が共通理解の下、統一的に服装頭髪指導に関わる。 ⑩ 普段は時間が無くてできない部分の清掃を徹底する。 ⑪ 早期発見に向け、日常の観察及び校内巡視、定期生活アンケート等を行う。また生徒が悩み事を相談しやすい環境作りを努める。 ⑫ 遅刻者記入カードの活用を図るとともに、遅刻常習者には個別の指導を行う。 ⑬ 「保健だより」で健康面を、「教育相談」や二者面談等で精神面を含む生徒の全般的な学校生活を支える。	B	B	ステップアップサポート事業に係る研究授業を中心に、主体的に対話的な深い学びにつながる授業への課題を共有し、研鑽を深める。 成績下位者への丁寧な指導を継続し、併せて成績上位者への適切な指導を実施し、学習への積極的な取り組みを促していく。 各教科で模擬試験の結果分析と対策の立案を行い、弱点の補強と得意分野の更なる伸長を図る。 面談での意識付けに加えて、授業や課題のあり方について再点検を提案していく。	B	B	今年度の授業研究の成果と課題を踏まえ、次年度、さらに多くの職員が主体的に対話的な深い学びの場面設定に積極的に取り組む。 成績下位者への丁寧な指導を継続し、併せて成績上位者への適切な指導を実施し、学習への積極的な取り組みを促す環境を作る。 基礎学力の向上にさらに力を傾注すべきであり、その具体策を立て、優先順位を決めて実行する。 個々の教員は授業や課題を再検討しているが、それを学校全体で意見交換していく。
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑨ 服装頭髪指導を登校時や集会時等に全職員で取り組む。 ⑩ 月に1回大清掃を実施する。 ⑪ 学校まじめ防止に向けて、積極的に取り組んでいる。	⑫ 家庭と連携を図りながら、生徒の怠慢による遅刻を減らし、1日の平均遅刻者が全生徒の2%以下である。 ⑬ 自分の健康管理に気を遣って生活している生徒が、80%以上いる。	⑭ 二者面談等において、本人の適性や進路希望を確認し、進路実現に向けて支援する。 ⑮ 時期や年次に応じて進路通信を効果的に発行する。 ⑯ 「公開みらい学」、「大学訪問」などの際の事前事後の指導を徹底するとともにその成果と課題を検証する。	B	B	現在の取組を継続していく。生徒の自主自律的な態度の育成を目指し、全職員一丸となって指導に当たる。 各月の重点項目を生徒に伝え大掃除に取り組むことで、校内美化を更に充実させていく。 気になる生徒と面談を行い、全職員でいじめの未然防止に努める。また、SNS に頼らない人間関係づくりの活動の充実を図る。 玄関(登校時)指導を継続していく。保健保安とも連携し、生徒の情報の共有を図る。常習生徒には、学年団で指導に当たる。 各種感染症の予防指導を含め生徒自身が健康管理に関する知識を活用できるように働きかけを行う。	B	B
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑭ 担任と生徒の二者面談を年2回以上、さらに保護者を加えた三者面談を年2回(1・2年次は1回)行う。 ⑮ 進路通信を年5回以上発行する。	⑰ 「公開みらい学」、学校説明会、「オープンスクール」、「図書館一般開放」などを効果的に実施するとともに、積極的、計画的に広報活動を行う。 ⑱ 学校説明会等で広報紙を配布するなどして、本校の教育活動を紹介するとともに、ホームページを充実する。	A	A	「進路カルテ」や「みらい学」の振り返りなどを有効に活用して、面談や日常の声かけを行っていく。 進路通信の内容と始業式・終業式の連絡や進路講演会の内容を関連づける。 各行事や探究活動での事前・事後指導を丁寧に行い、その成果を蓄積することで、自分の成長を振り返ることができるようにしていく。	A	B	次年度も指導を継続していく。また、職員だけでなく、係生徒と連携して遵守させる。 次年度は毎日清掃時間を設けることができるので今まで以上に校内美化の充実を図る。 スマホ利用ルール改定や SNS に頼らない人間関係づくりの活動のより一層の充実を図る。 年次だけでなく、生徒指導部と連携して指導に当たる。また、生徒の自己管理能力の向上を図る。 うがい・手洗い、部屋の換気を勤めていくと共に感染症に対して抑制行動がとれるよう危機管理体制を整えていく。 教員同士の情報共有をさらに進める。
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑯ 自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるように努力をしている生徒が、70%以上いる。	⑰ 「公開みらい学」、学校説明会、「オープンスクール」、「図書館一般開放」などを効果的に実施するとともに、積極的、計画的に広報活動を行う。 ⑱ 学校説明会等で広報紙を配布するなどして、本校の教育活動を紹介するとともに、ホームページを充実する。	B	B	「進路カルテ」や「みらい学」の振り返りなどを有効に活用して、面談や日常の声かけを行っていく。 進路通信の内容と始業式・終業式の連絡や進路講演会の内容を関連づける。 各行事や探究活動での事前・事後指導を丁寧に行い、その成果を蓄積することで、自分の成長を振り返ることができるようにしていく。	B	B	自分のキャリアをより主体的に考えることができるように、ポートフォリオや手帳の活用等を通して、生徒のメタ認知能力を向上させていく。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑰ 家庭、地域社会が学校評価の「学校を開く努力」の項目に75%以上が肯定する。 ⑱ 広報紙「みらい」を年2回発行するとともに、学校のホームページを定期的に更新する。	⑰ 「公開みらい学」、学校説明会、「オープンスクール」、「図書館一般開放」などを効果的に実施するとともに、積極的、計画的に広報活動を行う。 ⑱ 学校説明会等で広報紙を配布するなどして、本校の教育活動を紹介するとともに、ホームページを充実する。	A	A	「進路カルテ」や「みらい学」の振り返りなどを有効に活用して、面談や日常の声かけを行っていく。 進路通信の内容と始業式・終業式の連絡や進路講演会の内容を関連づける。 各行事や探究活動での事前・事後指導を丁寧に行い、その成果を蓄積することで、自分の成長を振り返ることができるようにしていく。	A	A	教員同士の情報共有をさらに進める。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑲ 保護者、地域社会が学校評価の「本校の努力」の項目に70%以上が肯定する。	⑲ 保護者、地域社会が学校評価の「本校の努力」の項目に70%以上が肯定する。	⑲ 本校の教育活動について積極的に情報発信し、理解と協力を求める努力を行う。	B	B	進路指導や基本的な生活指導については、高い評価を得ている。さらに、「特色ある学校づくり」に努める必要がある。	B	A
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 保護者、地域社会が学校評価の「本校の努力」の項目に70%以上が肯定する。	⑲ 本校の教育活動について積極的に情報発信し、理解と協力を求める努力を行う。	B	B	進路指導や基本的な生活指導については、高い評価を得ている。さらに、「特色ある学校づくり」に努める必要がある。	B	A	概ね肯定的な評価を得ている。次年度は探究活動への全職員による取り組みなど、学校活動全般にわたり取り組む姿勢を伝えたい。
	10 保護者、地域社会は学校の教育活動に理解を示してくれますか。	⑲ 保護者、地域社会が学校評価の「本校の努力」の項目に70%以上が肯定する。	⑲ 本校の教育活動について積極的に情報発信し、理解と協力を求める努力を行う。	B	B	進路指導や基本的な生活指導については、高い評価を得ている。さらに、「特色ある学校づくり」に努める必要がある。	B	A	概ね肯定的な評価を得ている。次年度は探究活動への全職員による取り組みなど、学校活動全般にわたり取り組む姿勢を伝えたい。